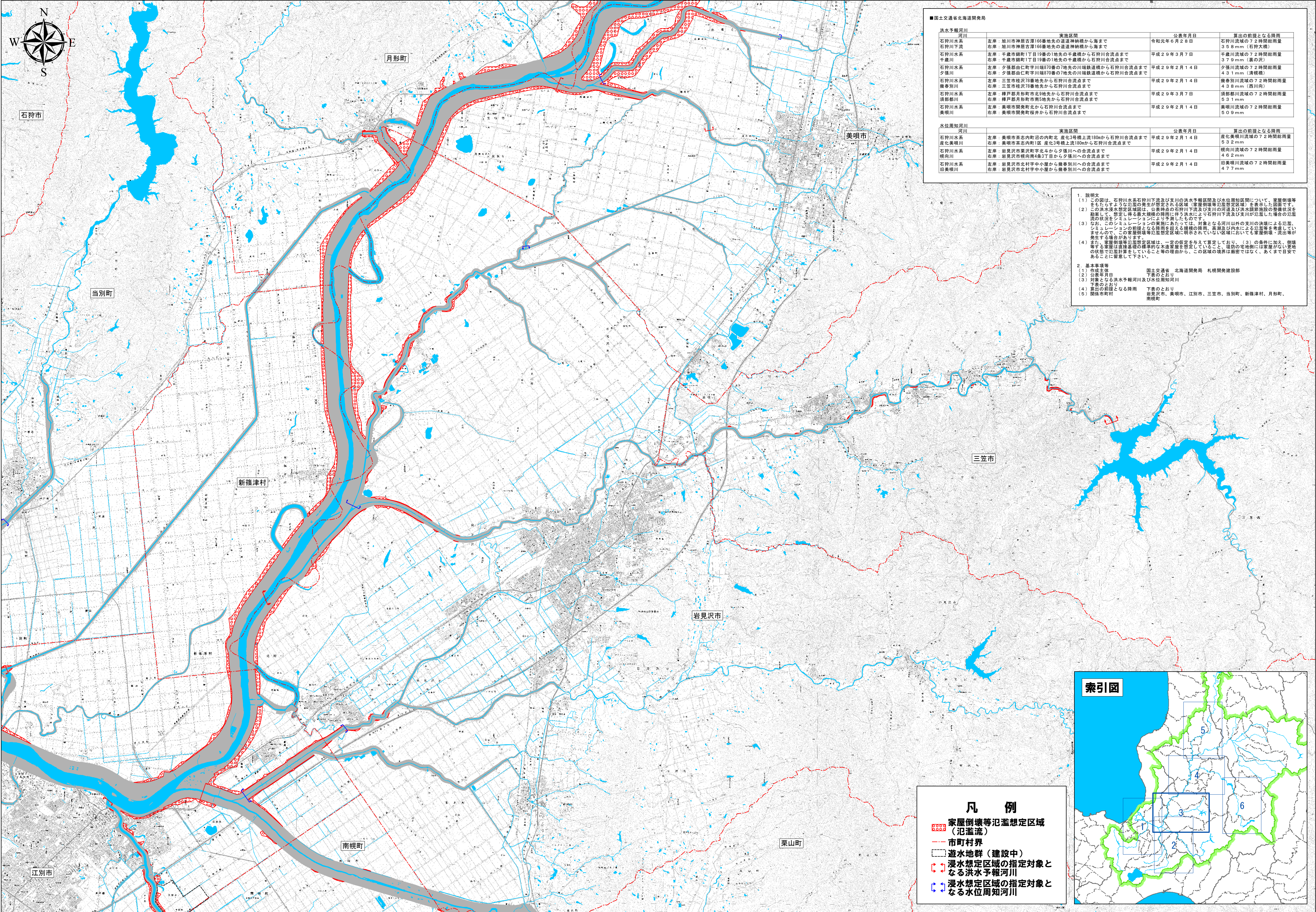


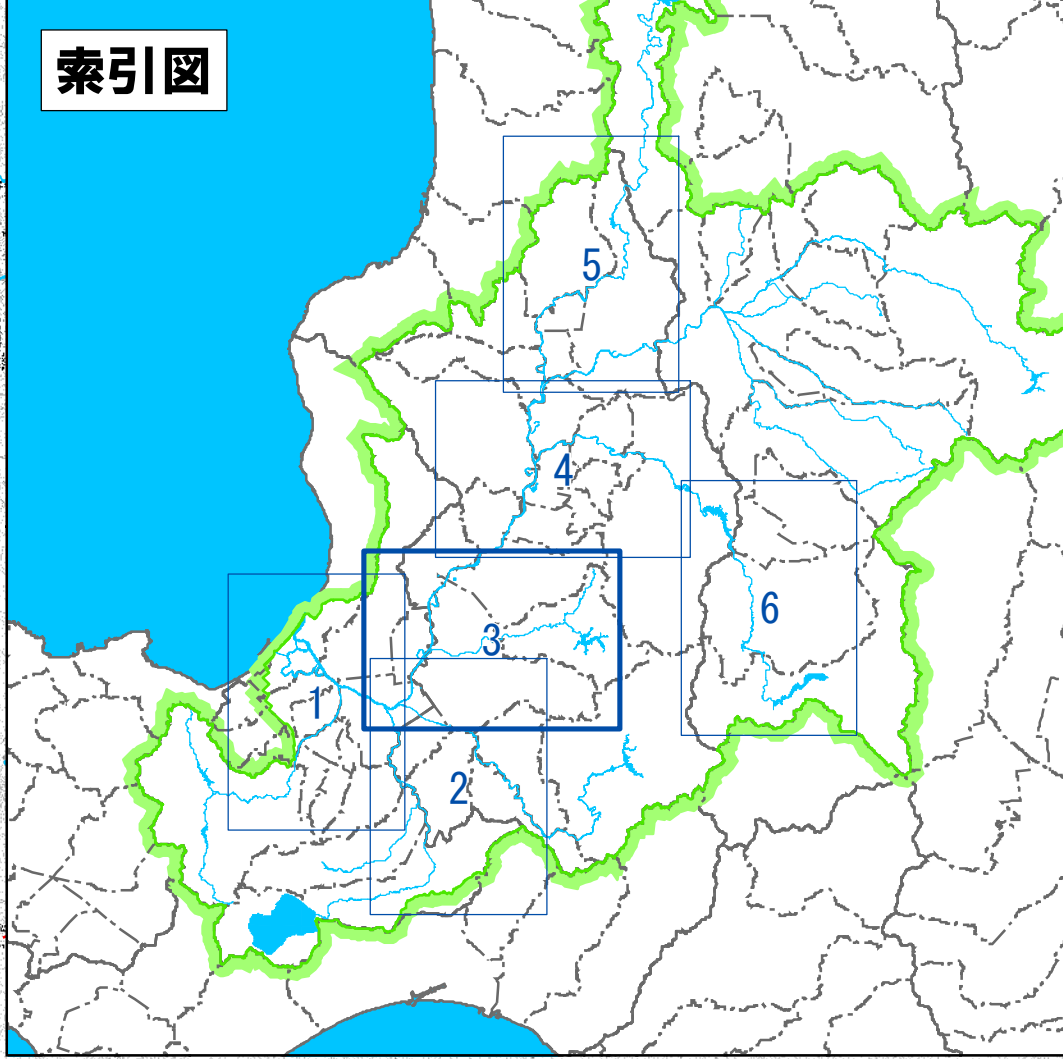
石狩川水系石狩川下流（本川・支川重ね図）洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）） No3



■国土交通省北海道開発局				
洪水予報河川		実施区域	公表年月日	算出の前提となる降雨
河川				
石狩川水系	左岸：旭川市神居古潭166番地先の道道神納橋から海まで	実施区域	令和元年6月28日	石狩川流域の7.2時間総雨量 35.8mm（石狩大橋）
石狩川下流	右岸：旭川市神居古潭166番地先の道道神納橋から海まで			
石狩川水系	左岸：千歳市錦町1丁目19番の1地先の千歳橋から石狩川合流点まで	千歳川流域の7.2時間総雨量 37.9mm（夏の沢）	平成29年3月7日	千歳川流域の7.2時間総雨量 37.9mm（夏の沢）
千歳川	右岸：千歳市錦町1丁目19番の1地先の千歳橋から石狩川合流点まで			
石狩川水系	左岸：夕張郡由仁町字川端870番の7地先の川端鉄道橋から石狩川合流点まで	夕張川流域の7.2時間総雨量 43.1mm（清観橋）	平成29年2月14日	夕張川流域の7.2時間総雨量 43.1mm（清観橋）
夕張川	右岸：夕張郡由仁町字川端870番の7地先の川端鉄道橋から石狩川合流点まで			
石狩川水系	左岸：三笠市桂沢78番地先から石狩川合流点まで	幾春別川流域の7.2時間総雨量 45.9mm（西川向）	平成29年2月14日	幾春別川流域の7.2時間総雨量 45.9mm（西川向）
幾春別川	右岸：三笠市桂沢78番地先から石狩川合流点まで			
石狩川水系	左岸：横手郡月形町市北5地先から石狩川合流点まで	幾春別川流域の7.2時間総雨量 53.1mm	平成29年3月7日	横手郡月形川の7.2時間総雨量 53.1mm
幾春別川	右岸：横手郡月形町市北5地先から石狩川合流点まで			
石狩川水系	左岸：美幌市開発町北から石狩川合流点まで	美幌川流域の7.2時間総雨量 50.9mm	平成29年3月14日	美幌川流域の7.2時間総雨量 50.9mm
美幌川	右岸：美幌市開発町桜井から石狩川合流点まで			
水位周知河川				
河川		実施区域	公表年月日	算出の前提となる降雨
石狩川水系	左岸：美幌市美志内町沼の内町北 産化3号橋上流180mから石狩川合流点まで	実施区域	平成29年2月14日	産化美幌川流域の7.2時間総雨量 53.2mm
産化美幌川	右岸：美幌市美志内町1区 産化3号橋上流180mから石狩川合流点まで			
石狩川水系	左岸：岩見沢市栗沢町字北斗から夕張川への合流点まで	夕張川流域の7.2時間総雨量 46.2mm	平成29年2月14日	横内川流域の7.2時間総雨量 46.2mm
横内川	右岸：岩見沢市横内南4条3丁目から夕張川への合流点まで			
石狩川水系	左岸：岩見沢市北村字小皿から幾春別川への合流点まで	幾春別川流域の7.2時間総雨量 47.7mm	平成29年2月14日	旧美幌川流域の7.2時間総雨量 47.7mm
旧美幌川	右岸：岩見沢市北村字小皿から幾春別川への合流点まで			

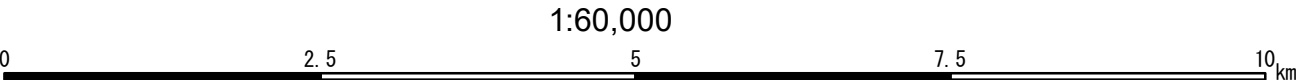
1. 説明文
(1) この図は、石狩川水系石狩川下流及び支川の洪水予報区域及び水位周知区域について、家屋倒壊等
をもちよるようなおそれがある区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を示した図面です。
(2) この洪水浸水想定区域は、公表時点の石狩川下流及び支川の河道及び洪水調節施設の整備状況を
勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により石狩川下流及び支川に氾濫した場合の氾濫
流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象となる河川以外の支川の決壊による氾濫、
土砂崩れ、雪崩、津波、地震、火山、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。
(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を考慮して算定しており、(3)の条件に加え、倒壊
等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地
の状態での氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安で
あることに留意して下さい。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部
(2) 公表年月日 下表のとおり
(3) 対象となる洪水予報河川及び水位周知河川 下表のとおり
(4) 算出の前提となる降雨 下表のとおり
(5) 関係市町村 岩見沢市、美幌市、江別市、三笠市、当別町、新篠津村、月形町、
南幌町



凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
- 市町村界
- 遊水地群（建設中）
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川
- 浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情模、第662号）」